

決議事項要約
国際理事会会議
バーチャル・オンライン会議
米国イリノイ州オークブルック
2020 年 4 月 2 日～21 日

監査委員会

- 委員会はライオンズクラブ国際協会内部監査から最新報告を受けた。引き続き行動計画のフォローアップと監視をおこなう。委員会は、未完了の監査対象事項の合計が、18 件から 16 件に減少したことを確認した。この件数には、ライオンズクラブ国際協会とライオンズクラブ国際財団が含まれている。
- 委員会は、2019～2020 年度の内部監査日程を確認し、監査プロジェクトの時期変更にかかわる改定について議論した。内部監査計画の年度は 2020 年 9 月 1 日から 2021 年 8 月 31 日までとなる。

会則及び付則委員会

- 委員会は、バイルート・セントガブリエル・ライオンズクラブから申し立てのあった保留中の会則関連抗議について検討し、法律部の職員に対し、その決定と承認についての最終決定通知のドラフト作成を要請した。
- 委員会は、国際協会が関与する係争中の訴訟について現状報告を受けた。
- 委員会は、国際理事候補者が国際役員候補者推薦証明書を提出する期限に関して、引き続き議論を行った。
- 委員会は、理事会方針書第 23 章「エリア・フォーラム」について審議し、アフリカフォーラムは 11 月の最終週か 12 月の第一週に開催されるところを承認した。

大会委員会

- 2027 年国際大会の開催地として米国ワシントン DC を選定した。
- 国際会長候補者が大会開会式で選挙演説をする時間を認めるため、理事会方針に対する例外を承認した。

- 委員会は、2021 年モントリオール国際大会の大会登録料を、これまでと同じに保つことに同意した。

地区及びクラブ・サービス委員会

- 委員会は、多様性、若手会員、レオ、女性会員の重要性を認識するためのニューヴォイス・プログラムの継続を確認した。
- 委員会は、300 複合地区を再編成して、300A 複合地区、300B 複合地区、300C 複合地区、300D 複合地区、300E 複合地区の 5 つの複合地区を設けることを承認した。この再編成は 2023 年国際大会の終了時に発効する。
- 2020～2021 年度のコーディネーター・ライオンを任命した。
- アラブ首長国連邦、ソマリア、バーレーン王国、コソボ共和国、モルドバ共和国を暫定ゾーンとして、またブルガリア共和国を暫定リジョンとして認めた。
- ゾーンおよびリジョン・チェアパーソンへの資金援助を行うため、理事会方針第 9 章を改定した。この改定は 2020 年 7 月 1 日に発効する。
- ゾーン・チェアパーソンの資格に関連して、理事会方針書第 7 章の標準版地区付則第 2 条第 7 項に新しく c と d を加えた。
- ガイディング・ライオンが LCIF 支援を新クラブまたは再建クラブに奨励するよう、その責任を改定した。
- 空席補充手続きに関して、国際会則及び付則改正案が可決されることを条件として、理事会方針書第 7 章の Exhibit A に含まれている別紙 B および C を改正した。
- 委員会は、任命されたが機能をしていないキャビネットの役職に在る者を、現在地区ガバナーは交代させることができないことについて審議した。委員会としては、地区ガバナーは任命により役職に就いている者を必要に応じて交代させることができるべきであると考え、この問題については引き続き審議し、これを実施した場合のインパクトとその方法について検討する。
- 標準版地区付則第 5 条第 1 項を、地区会則第 6 条第 2 項に規定されるキャビネットの投票権のある構成員の定義に言及する内容に改正した。
- 暫定地区は 3 月 1 日までに第一副地区ガバナーを昇格させるというプロセスが不要となったため、これを削除することにより理事会方針書を改訂した。
- 標準版クラブ付則に記載されている前クラブ会長の定義を改正し、前クラブ会長以外のライオンズ会員がクラブ LCIF コーディネーター職に就けるようにした。

- 標準版地区および複合地区の付則に記載されている地区および複合地区グローバル奉仕チーム・コーディネーター職を改正し、アドボカシー・リーダーとしての役割を務めることをその責務に加えた。

財務及び本部運営委員会

- 委員会は、協会の投資コンサルタントであるメリルリンチ・バンクオブアメリカより、ライオンズクラブ国際協会の投資資金と従業員の退職年金プランおよび 401 (k) 年金プランの経済および資本市場の概況について、最新報告を受けた。
- 委員会は、第 3 四半期収支予想および新型コロナウイルス感染症の影響に基づく、推定による修正版を確認し、この収支予想報告を妥当なものとした。
- 委員会は、理事会の各委員会により承認されて提出された予算の概要を確認した。2020～2021 年度予算は、2020 年 6 月の理事会で更新および承認されることになる。
- 委員会は、アルゼンチンから銀行あるいはクレジットカードを通じて会費を支払う際に課される 30%の税金に対する軽減を求める O 複合地区からの要請を承認した。
- 委員会は、会費の入金および保管のための信託口座開設許可を求める 412 A 複合地区からの要求を承認した。
- 委員会は、大会中止による会費増額改正への影響、並びにその決議修正の可能性について議論した。詳細が 2020 年 6 月の理事会会議で提供され検討される。

リーダーシップ開発委員会

- 2020～2021 年度における指導力育成研修用に提案された研究会スケジュールおよび補助金を承認した。2020～2021 年度、研究会の補助金額は、単一地区 1,800ドル（増額前は 1,200ドル）、地区未編成地域・リジョン・ゾーン 750ドル（増額前は 500ドル）に増額される。
- 2020 年国際大会が中止になったことを受け、FVDG/DGE セミナーを締めくくる 4 日目に向けた代替プラン開発を支持することを確認した。
- 2019 年 12 月 31 日までに、すべてのライオンズとレオに、新ライオンズ学習センター（Litmos による LLC）のアクセスが公開された。2020 年 3 月 31 日の時点で、新しくなった LLC にアクセスしたユーザーは 8,067 人に達している。

- 2020 年 9 月中旬に予定されている米国ケンタッキー州ルイビルでの FDI を除いては、次年度の研究会はすべて 2020 年 12 月以降に予定されている。
- 2020～2021 年度より、ライオンズ公認講師プログラム（LCIP）を通じて認定される新規申込者は全員、実地の LCIP 研修に出席しなければならない。LCIP の認定は、2024 年 6 月までは公式言語でのみ行われる。

長期計画委員会（2020 年 1 月に行われた会議についての報告）

- 現在の LCI フォーワードプラン全体の再検討が行われた。討議された議題には、奉仕アクティビティ報告の増加、キャンペーン 100 の進捗状況、ライオンズブランドの認知度の向上、グローバル・アクション・チームの支援、財政見通しなどが含まれていた。
- 委員会は、戦略プランの新バージョンの進捗状況について討議し、この計画策定にはさらに時間を要することを認めた。
- 2020 年国際大会で国際会長職に立候補する候補者は、2020 年 4 月 28 日までに、法律部に宛てた文書により、立候補する意思を表明する必要がある。

マーケティング・コミュニケーション委員会

- PR 補助金の今年度分の需要と、現在の資金の枯渇を受け、来年度分資金を増額した。
- 地域別のブランド・テンプレートと PSA の開発について検討した。これは、マーケティング資料、ロゴ、リソースなどを直接クラブに届けるためのもの。全世界公開は、来年度初めにオンラインで、またマーケティング委員長と GAT への通信を通じて行われる。
- 新型コロナウイルスに関連したマーケティング計画を確認。委員会は、この世界的危機に際し、この分野で率先して取られている措置については是認した。
- メール統合に向けたプランについて討議し、これを進めることにした。委員会は、クラブ、地区、複合地区レベルのダイジェスト版モデルについて確認し、プランを承認した。
- PR 補助金報告について、特に、国際協会が資金を出したプロジェクトの成果に関する包括的分析を行うことに重点を置いて討議した。
- 委員会は、次世代の LCI フォーワードについて新たに提案されているメッセージングを取り上げた。

会員増強委員会

- 退会した会員から学び、彼らを奉仕に関わらせるために、国際 100 周年ライオンズクラブを新プログラム・イニシアチブとして継続することを承認した。
- パイロット・プログラムとして生み出した勢いを足場に、スペシャルティクラブを新プログラム・イニシアチブとして継続することを承認した。
- 北米会員増強イニシアチブ（NAMI）パイロットプログラム強化を承認し、希望する北米のすべての地区が参加できるようにした。

奉仕事業委員会

- 理事会方針書第 13 章 D 項を、クラブ姉妹提携、地区ガバナーエレクト・ツイン、地区姉妹提携の各プログラムが廃止されたことを示す内容に改めた。しかしながら、クラブおよび地区は、ライオンズクラブ国際協会による正式な管理監督のない中で互いにつながり協力し合うことを奨励されている。
- ライオンズとそのグローバルな財団が今年度 2 億 2,600 万人に奉仕をしたことを認識し、今後の奉仕アクティビティ報告を増やすための計画について討議した。
- 2019 年世界糖尿病デーを祝してライオンズが 100 万人を対象に 2 型糖尿病検査を行ったことを認識した。
- アドボカシー戦略およびツールキットの開発や、国際協会と糖尿病治療・教育専門家協会のパートナーシップを含む各種アドボカシープログラムに関する最新報告を受けた。
- まもなく発表される「思いやりは大切なこと」奉仕アワードに関わる諸事の詳細について討議した。

テクノロジー委員会

- 委員会は、テクノロジー部の 2020～2021 年度予算を承認した。ただし、新型コロナウイルスのパンデミックに関連して重大な影響が出た場合には、予算の再検討が必要となる可能性も指摘した。
- 委員会は、プライバシー保護の取り組みと、一般データ保護規則（GDPR）に関連して講じられている継続的な措置について最新報告を受けた。委員会は、今後 3～6 カ月に計画されているセキュリティおよびプライバシーの取り組みを承認した。これには、処理活動の記録、デー

タ保護研修、個人データのセキュリティ、データ侵害の通知が含まれる。これに加え、委員会は、スタッフが理事会方針書にテクノロジーに関する方針をまとめた新しい章を設けていると聞き、喜ばしく思った。

- 委員会は、デジタルプロダクトの状況について最新報告を受けた。委員会は、使い勝手を良いものにするために最近行われた MyLion の奉仕アクティビティ報告機能改良に満足した。
- 委員会は、既存の財務システムの差し替えについて最新報告を受けた。プロジェクトは 2020 年 5 月に公開される予定。
- 委員会は、テクノロジー部の長期戦略について包括的な議論を行った。委員会は、会員、コミュニケーション、マーケティング/意識高揚、奉仕、運営、投票、LCIF、およびシステムに関連する戦略的アイデアが及ぼす影響を検討した。
- 委員会は、2020 年 5 月公開予定の新しい E コマース・ウェブサイトのデモ内容に満足した。